

科目名	造形表現Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 選択				
授業概要 造形表現Ⅰ・Ⅱで習得して来たことを基にその幅を広げ、内容をふかめていく。 身近にある物を利用して造形表現に必要な体験を蓄積し、創造する喜びを会得し、技術や知識を実践に役立てていくために、異なる表現手段との共同表現に取り組む。							
到達目標			成績評価方法				
身近なものを扱った作品制作を通して、道具・材料の使い方を知り、作品で遊びにつなげることができるようになる。			レポート、演習の振り返りシートによる総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション					○		10
グループワーク		○	○	○			20
演習	○	○	○	○	○	○	40
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) ガイダンス 様々な表現あそび				グループワーク			
造形あそびの可能性①-1 新聞テント～構造を知る、棒作り							
2) 造形あそびの可能性①-2				グループワーク			
新聞テント～ユニットを作る							
3) 造形あそびの可能性①-3				グループワーク 小レポート			
新聞テント～ホロを張る							
4) 造形あそびの可能性②				グループワーク 小レポート			
絵筆の特徴（水とともだち、細い線・太い線、にじみ・かすれ）							
5) 造形あそびの可能性③				グループワーク 小レポート			
トイレットペーパーを使って							
6) 造形あそびの可能性④				グループワーク 小レポート			
段ボールを使って							

7) 造形あそびを考える①	個人ワーク
ガイダンス、材料を考える	小レポート
8) 造形あそびを考える②	個人ワーク
ストーリーを考える（何をあるいはどんな体験するか、ねらいは何か、どのような効果が期待されるか、など）	小レポート
9) 造形あそびを考える③	個人ワーク
保育現場における造形表現活動を観察する。レポート発表、討議	小レポート
10) 造形あそびを考える④	個人ワーク
制作	
11) 造形あそびを考える⑤	個人ワーク
制作	
12) 造形あそびを考える⑥	グループワーク
報告、グループ学習、討議	小レポート
13) 造形あそびを考える⑦	個人ワーク
発表の準備	
14) 造形表現活動をねらいとした造形表現の発表	
他の表現領域との合同発表 ・保育表現の他の領域の表現を見る。 ・作品とパワーポイント等で模擬保育を想定した「造形あそび」を発表。	グループワーク
15) 振り返り	レポート
振り返り、子どもとの関わりを想定して	
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新造形表現＜実技編＞」花篤實他著（三晃書房） その他：配布プリント	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅳ
備考	
汚れても構わない服装で授業に臨むこと。 【オフィスアワー】原井（harai@ube-c.ac.jp）	